お祭り でんでんPRESS
お祭りでんでん館の情報や
八代の民俗芸能の情報発信！
R4．4月号 No.3

# でんでん館で民俗芸能に親しむ～特別講演会と民俗芸能公演会を開催～

段上先生による特別講演会

3月12日(土)、別府大学特任教授 段上（だんじょう） 達雄（たつお）先生による特別講演会と貝洲（かいず）加藤神社肥後神楽保存会、樅木（もみぎ）神楽保存会の皆様による民俗芸能公演会を開催しました。

段上先生の講演では、八代の無形民俗文化財について、起源や伝承状況など詳しく解説していただきました。当時の世の中や人々の暮らしをうかがい知ることができる民俗文化財。大変興味深いお話でした。

民俗芸能公演会では、貝洲加藤神社肥後神楽保存会の皆様には「二剣舞（にけんまい）」を、樅木神楽保存会の皆様には「日当（ひあて）神楽」を披露していただきました。普段は神社の祭礼で披露される神楽ですが、今回は間近で見ることができる貴重な公演会でした。それぞれの神楽は公開日が設けられています。神社で見る神楽はより一層味わい深いものです。ぜひそれぞれの地域にもお出かけください。

お祭りでんでん館では、これからも民俗芸能に親しむイベントを開催していきます。お楽しみに！

貝洲加藤神社肥後神楽「二剣舞」

樅木神楽「日当神楽」

■貝洲加藤神社肥後神楽
公開日：1月1日，
　　2月・7月・9月の24日
場　所：貝洲加藤神社（鏡町）

■樅木神楽
公開日：10月の第4土・日
場　所：樅木天満宮（泉町）

## 笠鉾（かさぼこ） 猩々（しょうじょう） ～5/7(土)まで展示～

猩々は、想像上の霊獣（れいじゅう）（不思議な力を持った生き物）で、お酒を好むといわれているんじゃ。笠鉾猩々は、親孝行な酒売りの青年高風（こうふう）に、猩々が汲（く）んでも尽きない酒の泉の入った壺（つぼ）を授（さず）け、高風の家が栄えたという話が元になっておるんじゃよ。笠鉾一番上の猩々の右にある壺が話に出てくる壺じゃ。ワシにもくれんかのぉ。4月3日からでんでん館で展示するぞ！

## 今月の水引幕

### 黒天鵞絨地向い双龍模様繍水引幕（くろびろーどじむかいそうりゅうもようぬいみずひきまく）

でんでん館では、毎月1枚ずつ笠鉾の水引幕を紹介しています。現在使われていない水引幕を展示することもありますので、お楽しみに。

笠鉾松の水引幕です。令和4年3月に完成したばかりで、今回が初公開です！

平成30年度から始まった八代妙見祭保存振興会による「八代妙見祭の神幸行事用具等整備事業」の一環で復元新調されました。

新しい水引幕は、これまで使われていた幕を入念に調査し、試作を重ねて制作されたものです。金色に輝く龍も部分によって金糸の太さや留め方が変えてあり、随所にこだわりが感じられます。

2階のお宝ギャラリーでは、笠鉾松のヒミツにググっと迫る展示も開催中です。

お祭りでんでん館（八代市民俗伝統芸能伝承館）〒866-0863 熊本県八代市西松江城町1番47号
TEL0965-37-8737　FAX0965-37-8738　MAIL bunka@city.yatsushiro.lg.jp